

# 尾鳩地域 地区防災計画が中津川市の地域防災計画に掲載されました

多治見砂防国道事務所では、令和元年度より、中津川市尾鳩地域の地区防災計画策定の支援を行ってまいりました。

この度、尾鳩地域の地区防災計画が策定され、尾鳩地域の酒井自主防災会長より、中津川市長に地区防災計画書の手交式が執り行われ、中津川市の地域防災計画に掲載されました。



手交式の様子

日 時: 令和3年3月23日(火) 14:00~14:30

場 所: 中津川市 市長公室

出席者: 青山中津川市長、酒井尾鳩区自主防災会長、  
植野多治見砂防国道事務所長

マスコミ取材: 岐阜新聞、中日新聞

内 容: 開式、計画書提出(酒井会長から市長へ)、酒井会長挨拶、市長挨拶、懇談等

## 地区防災計画とは

自分たちの地域の人命、財産を守るための助け合いについて、自発的な防災活動を行うために作成する計画。中津川市の地域防災計画と歯車のように噛みあって、機能することにより防災力を向上させる



(酒井会長 挨拶)



(懇談の様子)

## 酒井会長より

「2年前から地区防災計画策定に支援いただき、ありがとうございます。地域の防災意識がまだ低いと感じているので、今後は防災訓練などを継続して実施、防災意識を高めていきたい

## 青山市長より

多くの関係者により、計画が策定されたことに感謝したい。  
今後は、この計画を市内全域に応用できるように考えていきたい

## 植野事務所長より

尾鳩地域での支援にかかる経緯を説明し、今後も色々な形で支援していくと説明

## 地区防災計画の概要

### 中津川市尾鳩地区 地区防災計画



令和3年3月

尾鳩地域は、土砂災害のリスクが高く、中津川の浸水想定区域内に含まれる場所もあり、また、高齢化も進んでいる地域。計画には、地域の災害リスクの特性、避難情報や気象情報、地区の情報など防災情報の共有方法、避難行動計画(タイムライン)、要配慮者への支援、行政や地元企業等との連携、防災訓練の実施・検証など、地域の特性に合わせた内容を掲載



## 尾鷲地域 地区防災計画策定に向けての取り組み紹介(1/2)

## 背景

土砂災害に対し、「実効性のある避難」を確保するには、市町村単位の「地域防災計画」だけではなく、「地区防災計画」との連携により、地域の防災力が向上するといった観点から、全国的に5地区（直轄）のモデル地区において、地区防災計画の策定を支援

## 尾鳩地域の概要と課題

### ①地区の概要

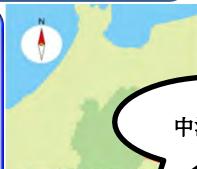
【居住世帯数】87世帯  
【災害履歴】昭和7年土石流  
昭和32年 氾濫  
など  
【避難場所】地区外に指定避難所あり(車で10分かかる)

## ②災害リスク

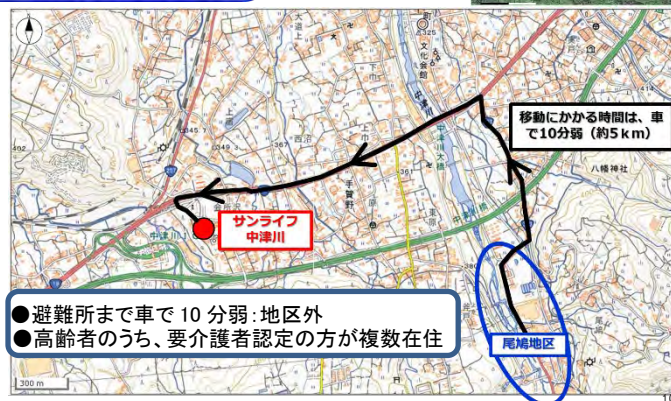
土砂災害  
(土石流・急傾斜地の崩壊)  
洪水災害(中津川の氾濫)

### ③課題

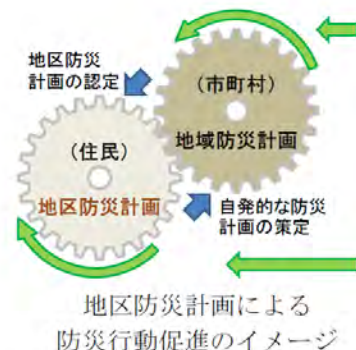
- ・地区内に要介護認定者がいるが、避難支援方法は決まっていない。
- ・指定避難所が遠く、避難経路上に土砂災害特別警戒区域(土石流)や本川を渡る橋がある。



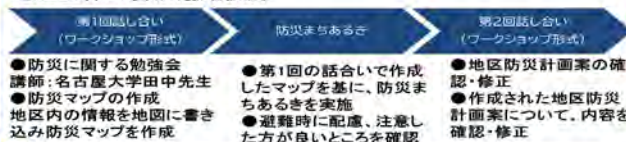
- 避難所（サンライフ中津川）まで車で10分弱；地区外
- 高齢者のうち、要介護認定の方が8名程度在住



## ステップ1



### 地区全体の警戒避難検討



講師（名古屋大田中先生）による勉強会

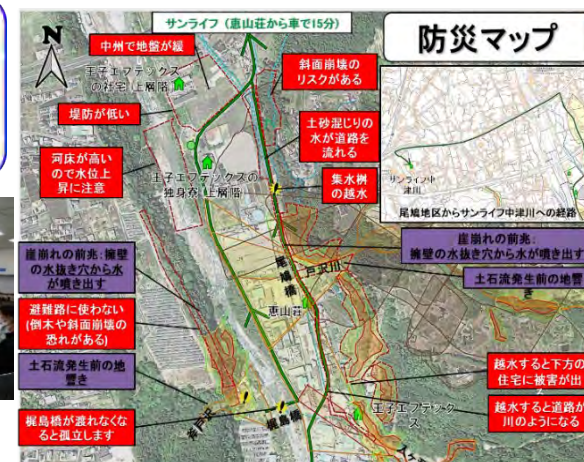
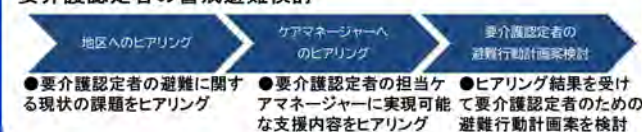
地区内の情報集約



### 避難場所へ移動する際の避難路の安全性を確認

## ステップ2

## 要介護認定者の警戒避難検討



## 住民からの情報をまとめた防災マップ

## ＜ケアマネージャーとの連携＞

地区内の介護が必要な方に対して、ケアマネージャーや家族へヒアリングを実施し、避難に際し、実施可能な支援内容を確認

ケアマネージャーや家族が支援できることを  
避難行動計画としてとりまとめ

[illegible]



# 尾鳩地域 地区防災計画策定に向けての取り組み紹介(2/2)

## <避難行動計画>

